



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 フジ住宅株式会社
コード番号 8860 URL <http://www.fuji-jutaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 宣綱

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 石本 賢一

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 072-437-4071

平成23年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及び個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,675	30.6	2,707	101.4	2,705	97.5	1,576	134.7
23年3月期第2四半期	27,308	19.9	1,344	14.8	1,369	18.4	671	△1.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,618百万円 (100.4%) 23年3月期第2四半期 807百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	44.60	—
23年3月期第2四半期	21.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	62,251		19,234		19,234	30.8
23年3月期	62,314		18,004		18,004	28.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,191百万円 23年3月期 17,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	12.0	4,150	13.8	4,000	8.7	2,320	14.4	65.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	36,849,912 株	23年3月期	36,849,912 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,498,367 株	23年3月期	1,498,187 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	35,351,661 株	23年3月期2Q	31,998,668 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたしております。

また、当社は、平成23年11月1日(火)に機関投資家及び個人投資家向け決算説明会、11月4日(金)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の詳細につきましては、当社ホームページに掲載いたしております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 経営管理上重要な指標	12
(2) 販売及び契約の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の被害からの回復に向けた動きが着実に拡がりました。しかしながら、欧州の金融危機やその影響による円高の進行により輸出企業を中心に業績が下ぶれとなるなど、景気の先行き不透明な状況で推移いたしました。

不動産業界におきましては、大震災の発生直後に一時的に混乱は見られたものの、回復は早く現在は全般的に通常の市場に戻っています。景気動向は厳しい状況が続いておりますが、住宅需要は根強く、景気動向の影響を受けにくい低価格帯の物件は引き続き堅調に推移しております。

当社グループ（当社及び当社の連結子会社）におきましては、震災の発生直後は設備機器や資材の調達が難航することが予想されたため、住宅の竣工・引渡しが通常より遅れることを見込んでおりましたが、実際の影響は軽微に止まったことから、当第2四半期連結累計期間の引渡戸数が期初予想を大きく上回りました。この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、販売契約高・売上高及び経常利益は期初の業績予想並びに前年同期の業績を上回る結果となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の実績は以下のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増加率
販売契約高（百万円）	29,944	31,088	3.8%
売上高（百万円）	27,308	35,675	30.6%
営業利益（百万円）	1,344	2,707	101.4%
経常利益（百万円）	1,369	2,705	97.5%
四半期純利益（百万円）	671	1,576	134.7%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

分譲住宅セグメントにおいては、顧客の住宅間取りや設備仕様に対する様々なニーズに対応した自由設計住宅の販売が引き続き順調に推移しました。当セグメントの当第2四半期連結累計期間の受注契約高は12,349百万円（前年同期比29.8%減）となり、前年同期の絶好調時の受注状況が一段落しました。一方、売上高は14,538百万円（前年同期比40.6%増）となり、セグメント利益はリーマン・ショック後に仕入れた利益率の高い物件引渡しを反映して1,824百万円（前年同期比344.6%増）と大幅な増加となりました。

住宅流通セグメントにおいては、フジホームバンク大阪店の仕入・販売エリアの拡大やおうち館和泉店、フジホームバンク西宮店の開店等により、順調に業績を伸ばさせることができました。以上の結果、当セグメントの売上高は13,242百万円（前年同期比35.4%増）となりましたが、フジホームバンクおうち館泉佐野店及びフジホームバンク西宮店の開店費用並びに営業社員等の採用増による営業費用の増加により、セグメント利益は624百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

土地有効活用セグメントにおいては、「フジパレスシニア」（低賃料タイプサービス付き高齢者向け住宅）の受注が、前連結会計年度に引き続き好調に推移し、当セグメントの受注高は4,489百万円（前年同期比100.6%増）と大幅な増加となりました。売上高は3,871百万円（前年同期比9.4%増）となり前年同期に比べ増加しましたが、利益率の比較的低い個人投資家向け一棟賃貸マンションの売上構成比が高まったことから、当セグメントの利益率が低下し、セグメント利益は483百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

賃貸及び管理セグメントにおいては、主として土地有効活用事業にリンクした賃貸物件及び管理物件の取扱い件数が増加したこと、稼働率が前年同期に比べ改善したことにより、当セグメントの売上高は3,837百万円（前年同期比7.2%増）となり、セグメント利益は177百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

注文住宅セグメントにおいては、前連結会計年度より当該事業に本格的に参入したことにより、売上高184百万円（前年同期比164.8%増）を計上しましたが、今後の営業展開に向けた営業人員の採用を加速させたことやモデルハウス展示場の開設などの営業費用の増加により、セグメント損失12百万円（前年同期はセグメント利益10百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は35,675百万円（前年同期比30.6%増）となり、営業利益2,707百万円（前年同期比101.4%増）、経常利益2,705百万円（前年同期比97.5%増）、四半期純利益1,576百万円（前年同期比134.7%増）となりました。

※第2四半期連結累計期間における損益の特徴

不動産業界におきましては、一般に、マンション・住宅等の引渡し(売上計上)時期は第4四半期、特に3月に集中する傾向があります。当社グループは、不動産販売事業における戸建住宅を中心とした引渡し時期の平準化に努めており、平成24年3月期におきましては、当第2四半期連結累計期間実績の年間売上予想に対する実績進捗率は53.2%となり、年間売上予想のほぼ2分の1の売上実績を計上いたしました。

なお、通期予想に対する当第2四半期連結累計期間の実績は以下のとおりであります。

	通期予想	当第2四半期 連結累計期間	進捗率
売上高 (百万円)	67,000	35,675	53.2%
営業利益 (百万円)	4,150	2,707	65.2%
経常利益 (百万円)	4,000	2,705	67.6%
当期(四半期)純利益 (百万円)	2,320	1,576	68.0%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は62,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少しました。

流動資産は54,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円の減少となりました。これは主として、たな卸資産の増加額983百万円及び現金及び預金の減少額1,446百万円を反映したものであります。固定資産は7,338百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円増加しました。これは主として、有形固定資産の増加額108百万円を反映したものであります。

流動負債は17,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,625百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金の減少額1,341百万円、未払法人税等の減少額163百万円及び前受金の増加額109百万円を反映したものであります。固定負債は25,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金の増加額696百万円及び社債の償還による減少額360百万円を反映したものであります。

純資産は19,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,229百万円の増加となりました。これは、配当金の支払による減少額388百万円及び四半期純利益の計上による増加額1,576百万円を反映したものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末の28.8%から30.8%と上昇する結果となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純利益2,683百万円を計上しましたが、たな卸資産の増加、法人税等の支払による支出及び借入金の純減少額等の減少要因により、前連結会計年度末に比べ1,446百万円減少し、6,724百万円(前年同四半期末残高5,951百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は213百万円(前年同期は277百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の獲得額2,683百万円、法人税等の支払額1,140百万円及びたな卸資産の増加額983百万円等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は262百万円(前年同期比35.7%減)となりました。これは主に、住宅流通事業のおうち館や分譲住宅事業に係る販売センター等の新設に伴う有形固定資産の取得による支出263百万円を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1,397百万円(前年同期比604.8%増)となりました。これは主に、短期借入金・長期借入金の純減少額644百万円及び社債の償還による減少360百万円を反映したものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、厳しい経済環境・所得環境が続く中、戸建住宅の引渡しが前倒しされたこと等により、連結売上高及び連結経常利益等において期初予想を大幅に上回る業績となり、平成23年10月19日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は期初予想を大幅に上回る業績となりましたが、上記の当第2四半期連結累計期間に係る業績予想の修正に至った主要因である戸建住宅の引渡しについては通期では期初予想と変わらないことや、景気の先行きが不透明な状況で推移しておりますので、平成23年5月6日に公表いたしました平成24年3月期の通期連結業績予想は変更していません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,170,264	6,724,230
完成工事未収入金	302,394	114,201
販売用不動産	12,283,571	12,728,369
仕掛販売用不動産	8,190,074	9,180,400
開発用不動産	24,655,397	24,137,901
未成工事支出金	39,918	103,538
貯蔵品	29,002	31,598
繰延税金資産	747,565	611,493
その他	729,709	1,320,147
貸倒引当金	△38,903	△38,988
流動資産合計	55,108,994	54,912,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,513,013	2,611,661
機械装置及び運搬具（純額）	1,424	1,527
工具、器具及び備品（純額）	90,870	133,435
土地	3,583,484	3,583,484
リース資産（純額）	25,892	22,057
建設仮勘定	29,302	—
有形固定資産合計	6,243,987	6,352,165
無形固定資産		
投資その他の資産	9,170	10,188
投資有価証券	431,928	452,697
長期貸付金	127,115	119,903
繰延税金資産	8,101	17,724
その他	396,267	396,785
貸倒引当金	△11,102	△11,035
投資その他の資産合計	952,309	976,075
固定資産合計	7,205,467	7,338,429
資産合計	62,314,462	62,251,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	2,063,357	2,024,905
短期借入金	10,051,150	8,709,900
1年内償還予定の社債	720,000	720,000
リース債務	8,053	8,053
未払法人税等	1,173,030	1,009,387
前受金	2,678,405	2,788,399
賞与引当金	160,100	157,080
その他	2,043,389	1,853,929
流動負債合計	18,897,487	17,271,656
固定負債		
社債	2,220,000	1,860,000
長期借入金	22,911,450	23,608,200
リース債務	19,133	15,106
再評価に係る繰延税金負債	91,323	91,323
その他	170,950	170,950
固定負債合計	25,412,856	25,745,579
負債合計	44,310,344	43,017,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,872,064	4,872,064
資本剰余金	5,451,466	5,451,466
利益剰余金	8,177,515	9,365,504
自己株式	△450,200	△450,268
株主資本合計	18,050,845	19,238,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△177,225	△135,179
土地再評価差額金	87,673	87,673
その他の包括利益累計額合計	△89,552	△47,505
新株予約権	42,825	42,825
純資産合計	18,004,118	19,234,085
負債純資産合計	62,314,462	62,251,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	27,308,244	35,675,934
売上原価	22,488,423	29,016,805
売上総利益	4,819,820	6,659,129
販売費及び一般管理費		
販売手数料	385,958	508,819
広告宣伝費	676,077	734,559
販売促進費	40,243	53,438
給料及び賞与	1,019,813	1,135,018
貸倒引当金繰入額	12,167	9,157
賞与引当金繰入額	86,960	90,425
事業税	22,000	28,600
消費税等	110,365	124,774
減価償却費	43,792	39,300
賃借料	123,115	162,727
その他	955,249	1,065,158
販売費及び一般管理費合計	3,475,744	3,951,980
営業利益	1,344,076	2,707,149
営業外収益		
受取利息	1,574	1,395
受取配当金	10,482	10,959
受取手数料	134,362	101,773
違約金収入	14,805	12,956
その他	17,148	24,732
営業外収益合計	178,373	151,818
営業外費用		
支払利息	126,352	141,456
社債発行費	5,145	—
その他	21,426	12,332
営業外費用合計	152,924	153,789
経常利益	1,369,525	2,705,178
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,726	—
特別利益合計	11,726	—
特別損失		
固定資産除却損	5,693	494
減損損失	1,917	—
投資有価証券評価損	225,115	21,074
特別損失合計	232,727	21,568
税金等調整前四半期純利益	1,148,524	2,683,609
法人税、住民税及び事業税	621,100	980,100
法人税等調整額	△144,452	126,652
法人税等合計	476,647	1,106,752
少数株主損益調整前四半期純利益	671,877	1,576,857
少数株主利益	—	—
四半期純利益	671,877	1,576,857

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	671,877	1,576,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,084	42,046
その他の包括利益合計	136,084	42,046
四半期包括利益	807,961	1,618,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807,961	1,618,904
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,148,524	2,683,609
減価償却費	107,042	125,523
社債発行費	5,145	—
有形固定資産除却損	5,693	494
投資有価証券評価損益 (△は益)	225,115	21,074
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,067	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,666	△3,020
減損損失	1,917	—
受取利息及び受取配当金	△12,057	△12,355
支払利息	126,352	141,456
売上債権の増減額 (△は増加)	△270,413	188,192
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,907,081	△983,842
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	343,309	△589,536
仕入債務の増減額 (△は減少)	△143,484	△38,452
その他債務の増減額 (△は減少)	700,877	△83,988
その他	5,828	35,116
小計	349,504	1,484,290
利息及び配当金の受取額	12,057	12,355
利息の支払額	△125,711	△142,942
法人税等の支払額	△512,950	△1,140,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	△277,099	213,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△400,678	△263,015
無形固定資産の取得による支出	—	△2,462
貸付金の回収による収入	5,799	4,656
その他	△12,802	△1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407,681	△262,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△359,100	△1,443,500
長期借入れによる収入	6,684,000	7,355,000
長期借入金の返済による支出	△6,722,700	△6,556,000
社債の発行による収入	594,854	—
社債の償還による支出	△200,000	△360,000
自己株式の取得による支出	△52	△68
リース債務の返済による支出	△3,287	△4,026
配当金の支払額	△191,992	△388,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,278	△1,397,464
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△883,059	△1,446,033
現金及び現金同等物の期首残高	6,835,046	8,170,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,951,986	6,724,230

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	10,341,702	9,776,837	3,539,865	3,580,048	69,790	27,308,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,341,702	9,776,837	3,539,865	3,580,048	69,790	27,308,244
セグメント利益	410,376	650,628	560,212	108,936	10,914	1,741,068

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,741,068
セグメント間取引消去	27,200
全社費用(注)	△424,191
四半期連結損益計算書の営業利益	1,344,076

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	14,538,587	13,242,688	3,871,973	3,837,895	184,790	35,675,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,538,587	13,242,688	3,871,973	3,837,895	184,790	35,675,934
セグメント利益又は損失(△)	1,824,671	624,927	483,172	177,834	△12,970	3,097,635

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,097,635
セグメント間取引消去	29,700
全社費用（注）	△420,186
四半期連結損益計算書の営業利益	2,707,149

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- （7）重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標

当社グループは、経営体質の安定化のための不動産の在庫量をコントロールする3つの指標値を目標設定いたしました。当第2四半期連結会計期間末の実績（通期予想）は以下のとおりとなりました。

在庫量の指標	目標倍率	平成23年3月期実績	当第2四半期実績
たな卸不動産/不動産売上高（注）1	1倍以下	0.96倍	0.86倍 ※
有利子負債/たな卸不動産（注）2	0.8倍以下	0.79倍	0.76倍
たな卸不動産/純資産（注）3	2倍以下	2.51倍	2.40倍

※通期業績予想に基づく数値であります。

- (注) 1. 売上高に対する在庫の量をコントロールする指標：たな卸不動産/不動産売上高
 2. 在庫に対する有利子負債の額をコントロールする指標：有利子負債/たな卸不動産
 3. 純資産額に対する在庫の金額をコントロールする指標：たな卸不動産/純資産

(2) 販売及び契約の状況

① セグメント別連結売上高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
	数量	金額(千円)	数量	金額(千円)
分譲住宅				
自由設計住宅	304戸	10,341,702	420戸	14,538,587
住宅流通				
中古住宅	481戸	7,648,311	707戸	11,007,192
建売住宅	81戸	2,121,979	84戸	2,153,006
土地販売等	— ^{m²}	6,546	1,141 ^{m²}	82,488
計	562戸 — ^{m²}	9,776,837	791戸 1,141 ^{m²}	13,242,688
土地有効活用				
賃貸住宅等建築請負	—	2,826,761	—	2,341,573
個人投資家向け一棟売賃貸マンション	—	713,103	—	1,530,400
計	—	3,539,865	—	3,871,973
賃貸及び管理	—	3,580,048	—	3,837,895
注文住宅	—	69,790	—	184,790
合計	866戸 — ^{m²}	27,308,244	1,211戸 1,141 ^{m²}	35,675,934

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 住宅流通セグメントの「土地販売等」は、土地販売及び仲介手数料収入であります。

② セグメント別販売契約実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)				当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			
	期中契約高		期末契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)
分譲住宅								
自由設計住宅	514戸	17,582,114	665戸	21,479,852	359戸	12,349,324	589戸	18,756,615
住宅流通								
中古住宅	493戸	7,865,558	134戸	2,149,005	749戸	11,640,203	168戸	2,602,789
建売住宅	81戸	2,052,726	39戸	980,677	85戸	2,202,907	39戸	1,051,723
土地販売等	731㎡	41,846	731㎡	35,300	1,516㎡	82,008	814㎡	36,600
計	574戸 731㎡	9,960,131	173戸 731㎡	3,164,982	834戸 1,516㎡	13,925,119	207戸 814㎡	3,691,113
土地有効活用								
賃貸住宅等建築請負	17件	1,772,382	—	6,285,050	19件	2,953,867	—	7,779,928
個人投資家向け一棟売賃貸マンション	3棟 3件 1F	466,252	—	761,224	10棟 11件 1F	1,536,100	—	1,205,469
計	3棟 20件 1F	2,238,634	—	7,046,274	10棟 30件 1F	4,489,967	—	8,985,397
注文住宅	—	163,501	—	120,940	—	323,832	—	279,600
合計	1,088戸 731㎡ 3棟 20件 1F	29,944,382	838戸 731㎡	31,812,050	1,193戸 1,516㎡ 10棟 30件 1F	31,088,244	796戸 814㎡	31,712,726

(注) 1. 期中契約高に記載された金額は、期中契約高と期中解約高を純額表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 個人投資家向け一棟売賃貸マンションの「期中契約高」数量欄の「棟」は建物の棟数、「件」は土地の件数、「F」は一棟のうちのフロア単位で販売契約した数量を示しております。

(参考)

通期セグメント別連結売上高予想

区分	通期予想 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		
	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)
分譲住宅			
自由設計住宅	910戸	30,824	46.0
住宅流通			
中古住宅	1,100戸	17,050	25.5
建売住宅等	150戸	3,957	5.9
小計	1,250戸	21,007	31.4
土地有効活用	—	6,916	10.3
賃貸及び管理	—	7,866	11.7
注文住宅	—	387	0.6
合計	2,160戸	67,000	100.0